

ソーシャル・レファレンシングとは、日本語では「社会的参照」という言葉に近いようです。『幼い子どもが、初めて出会ったことにたいして、「どうすればいいのかな」と振り返った時、親（中略）などの視線が、必ずみまもってくれていて、そして、どうすればいいのか教えてくれる。

そういう過程を通して、幼い子供の中に育っていく人間的な感情や感性を、ソーシャル・レファレンシングとよんでいます。』（『子どもへのまなざし』佐々木正美・福音館書店）

経験値のない赤ちゃんは、親の表情などを、まさに「参照」して、安全か・危険か？しても良いか・いけないか？を判断するのです。同じように子どもたちの活動も子どもたちが振り返った時に「OK。大丈夫！」「危ないからやめて」などのメッセージを表情豊かにかえすことで、子どもは安心して活動に挑戦していくことができます。

12月に行ったクリスマス会、子どもたちが演じた『みんなでつくったクリスマスツリー』絵本を読んでそこで感じたイメージを演じてみました。アドリブでのセリフは、ちゃんとのをついていました。みんなで一緒に活動する時には、自己をコントロールして我慢することをも体験します。表現し合う中で、ルールのような約束事も決して自分を抑える物ではなく、そのおかげでみんなが自己発揮しながら楽しく表現することができたことも体験しました。安心して自己を出することができる環境だからできたのです。その背景には、各ご家庭で子どもたちのしている活動を「上手にできたね」「失敗しても、大丈夫だよ」「そのままの自分でいいんだよ」と認めてくださっているからこそです。認めてもらえているという安心感の元に、ソーシャル・レファレンシングが育っている子どもたちです。『新春、運動フェスティバル』（運動会）が、11日（土）に行われます。一緒に運動を楽しみながら、子どもたちの成長をみとどけてください。そして、子どもたちの活動している姿を認めていきましょう。よろしくお願いたします。

ソーシャル・レファレンシングを
育てるためには・・・



基本保育時間は、
7:00~19:00 です。
7:00~7:30、
18:30~19:00
の利用の場合は、
お知らせください。

